



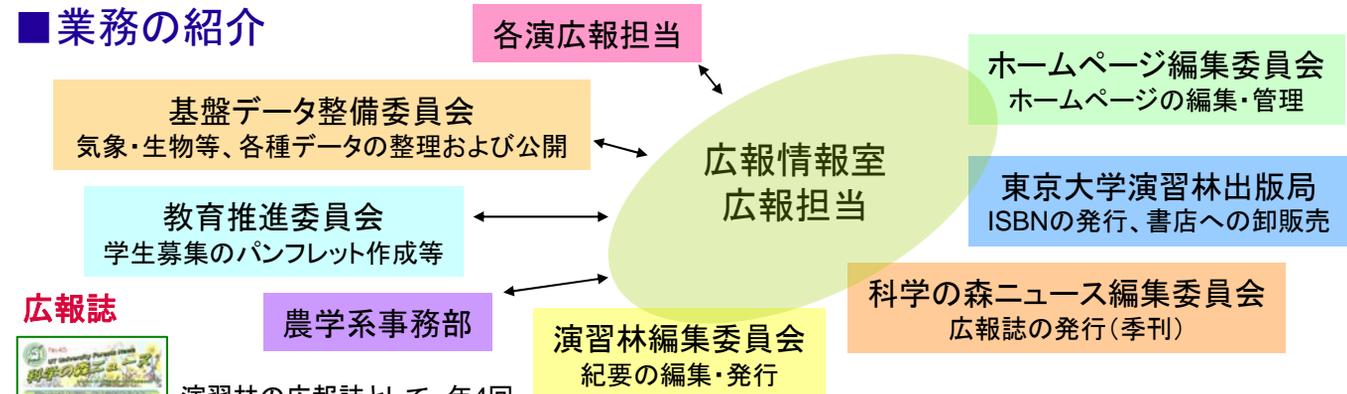
## 演習林の広報活動について

研究部・広報情報室 相川美絵子

### ■はじめに

7つの演習林が一体となって対外的な広報や各種情報の収集・発信を促進するため、平成19年7月に**広報情報室**が演習林に設置された。研究部を拠点に、各演習林の広報担当・情報担当や各種委員会、各部局と連携をとりながら活動している。構成メンバーは教員5名、技術職員2名、事務職員1名(全員兼務)である。この報告では、広報情報室の業務の中で主に広報関係の活動について紹介する。

### ■業務の紹介



#### 広報誌



演習林の広報誌として、年4回「科学の森ニュース」を編集・発行している。発行部数は1,500部。弥生・学内広報への記事掲載も促進し、各演習林からの投稿をサポートしている。

#### 東京大学演習林出版局

現在、千葉・秩父・愛知・富士の各演習林から書籍が計19種類販売されている。東京大学演習林出版局では、ISBNの発行、書店への卸販売、広報等を行っている。また、広報情報室が主体となった企画出版をすすめている。

#### ホームページ

公開講座等の最新情報、イベント報告、研究業績、各種公開データ(気象観測データ等)、紀要PDF、フィールドや施設の利用案内、教員紹介、学生募集等の情報を掲載しており、月2回程度更新している。

#### パンフレット

2008年4月に演習林概要を全面改訂した。各演習林のシンボルカラーを制定し、デザインを統一した各演習林の概要も同時に発行した。現在、「東京大学の森」育成資金のパンフレットを作成中である。



#### 定期刊行物

演習林では「演習林報告(学術論文誌、年2回)」、「演習林(学術資料および報告、年1回)」、「演習林年報(活動報告、年1回)」、「技術職員等試験研究・研修会議報告(年1回)」、「科学の森で学ぼう(学生募集パンフレット、年1回)」を発行している。それらの原稿募集・編集・印刷・発行を行なっている。

#### その他

上記の他、演習林の対外的な行事情報のとりまとめと公開、学内教職員向け特別ガイドの実施、外部からの取材要請の窓口、東大130周年記念事業の実施、病院等へのクリスマス用モミ寄贈の仲介などを行なっている。

### ■まとめ

豊かで多様な自然を持ち100年以上の歴史がある演習林は、蓄積された膨大な知見やデータを社会に還元していくことが使命と言えるだろう。また、より多くの人の社会教育の場としての役割も求められている。そのためには広報情報室が、演習林と外部をつなぐ窓口として、今後もより重要な役割を担うと思われる。